

会長退任の御挨拶

三菱電機株式会社 岡 久雄



一昨年の総会で会長に選任されてから早くも2年の任期を終え、この度退任いたすことになりました。この間の役員の皆様や会員の皆様の暖かい御支援、御協力に心から感謝申し上げます。

この2年間の世の中の変化は大変大きく、歴史的にも特記すべき事件がいろいろ起きており、私が会長就任時の御挨拶で申しておりました変革の時代、グローバル化の波は、当時の予想を遙かに越えるものとなりました。

第1にソ連邦の崩壊とそれに伴う東西冷戦の終結、近代ハイテク戦争のすさまじさを見せつけた湾岸戦争、力による国際政治の流れが大きく変わりました。第2に国内外の経済がグローバル化の進展の中でますます広域化するとともに利害関係の対立から種々の摩擦が発生しており、特に日米間の経済摩擦は政治問題化し、戦後最悪の様相を呈しつつあります。わが国のいわゆるバブル経済の崩壊も他から見れば、経済メカニズムの異質性の1つの現われとして批判されています。

第3には、これはかなり以前から提起されていたものでありますが、地球環境問題が一層現実味を帯びながら連帯者としての人類全体に対し、真剣な対応を迫ってきています。

政治も経済も技術開発も、すべての活動のパラダイムの見直しが求められ、まさに地球時代への大変革が起りつつあると思います。

このように社会も企業も、新しい方向をさぐり間違いない対応策を求めつつある今日こそ、実践的ORは一層重要視されるべきであり、当学会の果たすべき社会的使命もさらに大きくなっていくものと考えます。

振り返ってみれば、昭和32年にOR学会が創立

された当時は、わが国も漸く敗戦後の混乱から立ち直り、産業活動も企業経営も新しい方向をさぐり新しい手法を求めて活発に動き始めていた時代でした。その後年月を経てOR学会は、今年で創立35年目を迎えます。その間、わが国の産業経済の発展とともに、ORの理論的また実践的成果はいろいろな方面で大きく貢献してまいりました。

しかしながら、いかなる組織体でも創られてから20年、30年も経ちますと、時代の変化に伴う社会の要請に的確に答えていけない限り、その活力を失なうことがよくあります。

当学会では先に創立30周年を記念し、学会活動の活性化のための長期計画を策定いたしました。前述しましたような地球規模の大きな変革の起りつつあるいま、再び新しい観点から種々の活動を見直し、学会の今日的使命に答えることが求められています。

わが国ではいま、若者の学会離れが問題になっていますが、若者に限らず会員1人1人にとってあるいは賛助会社にとっても魅力ある学会となることもっとも大切で、それによらなければ会員増強もひいては財政基盤の確立も覚つきません。学会の魅力は、会員各層の学問あるいは実践としてのORへの関心に対し、開かれた学会としていかに的確に対応していくかによって生じてきます。

伊理新会長をはじめベテランの揃っておられる新役員のもと、OR学会の新しい発展を心から祈念し、退任の御挨拶といたします。